

宝ホールディングス(株)

2013年2月

取締役 松崎 修一郎



TAKARA HOLDINGS INC.

事業構造

2

宝ホールディングス株式会社

持株比率: 100%

宝酒造株式会社

子会社22社

酒類・調味料事業

- ◆ 国内酒類事業
- ◆ 調味料・酒精事業 (B-to-B)
- ◆ 海外酒類事業、日本食材卸事業



宝酒造グループ

持株比率: 70.8%

タカラバイオ株式会社
[東証マザーズ: 4974]

子会社10社

バイオ事業

- ◆ 遺伝子工学研究事業
- ◆ 医食品バイオ事業
- ◆ 遺伝子医療事業



タカラバイオグループ

持株比率: 100%

宝ヘルスケア株式会社

健康食品事業



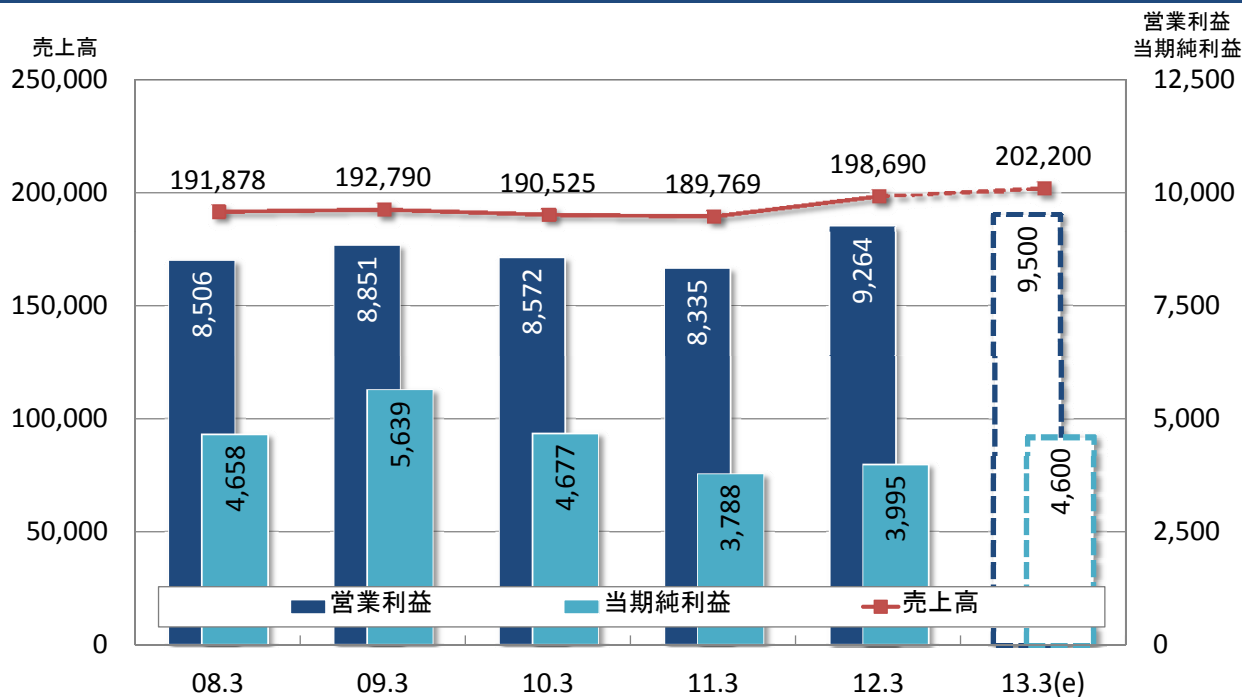
宝ヘルスケア

その他子会社3社

TAKARA HOLDINGS INC.

◆ 6年間の業績推移

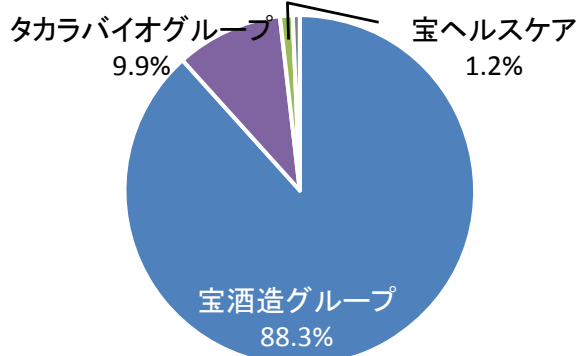
(単位:百万円)



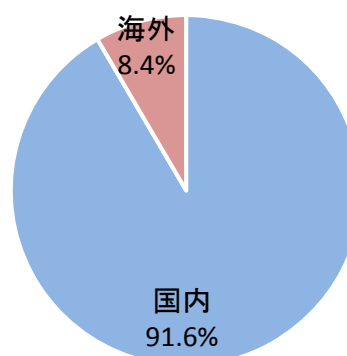
業績 (2012年3月期)

◆ 連結売上高: 198,690百万円

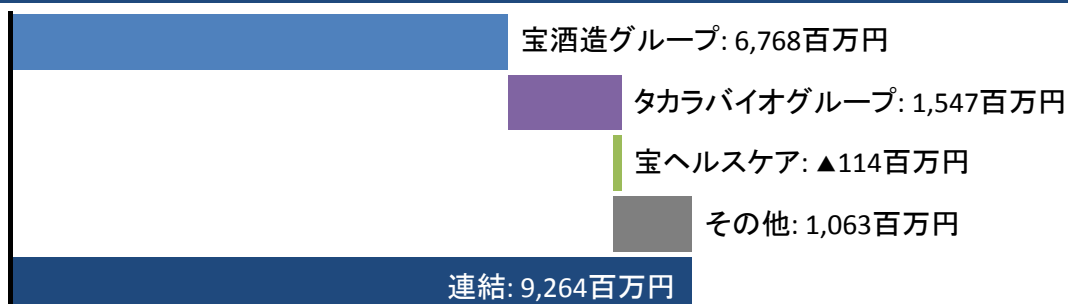
➤ セグメント別売上構成比



➤ 地域別売上構成比



◆ 連結営業利益: 9,264百万円



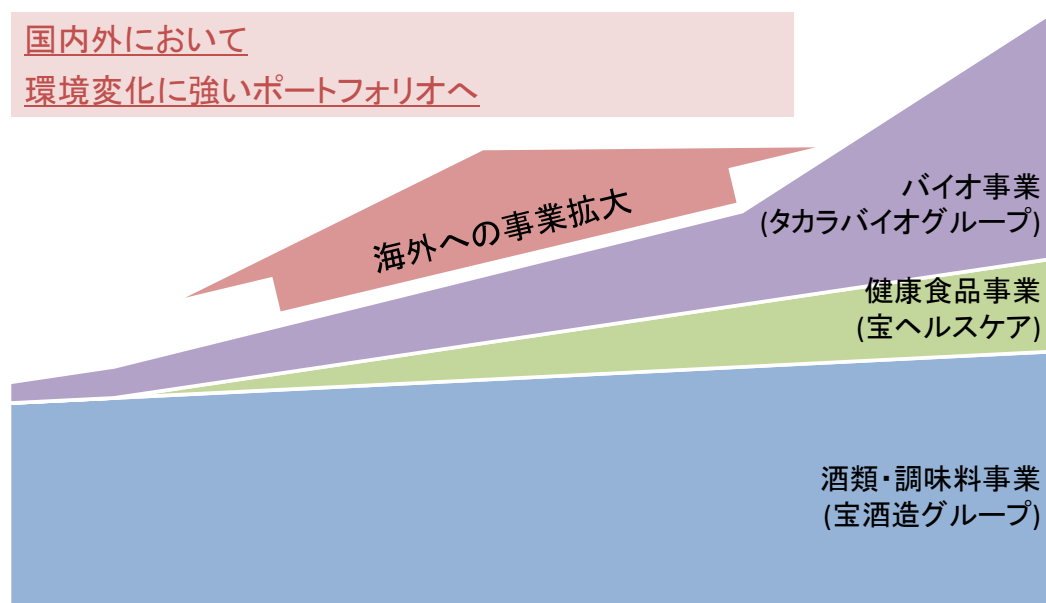
◆ TaKaRaグループ・ビジョン2020 (2011年4月より10年間)

経営目標

国内外の強みを活かせる市場で事業を伸ばし、
環境変化に強いバランスのとれた事業構造を確立する。

国内外において

環境変化に強いポートフォリオへ



安定収益基盤と成長事業を有する独自の強固な事業ポートフォリオ

中期経営計画2013 (2012年3月期~2014年3月期)

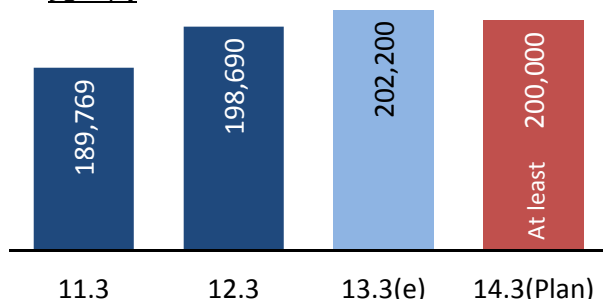
◆ 基本方針

「TaKaRaグループ・ビジョン2020」の実現に向けて、国内での安定成長を実現するとともに、海外で大きく成長するための事業基盤を拡大する。

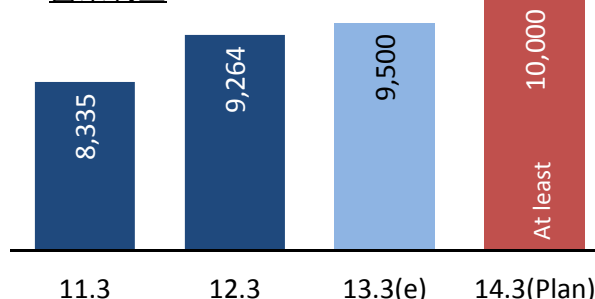
◆ 定量目標

(単位:百万円)

➤ 売上高



➤ 営業利益



◆ 財務方針

健全な財務体質を維持しながら、成長・育成事業への投資と、積極的な株主還元を実施し、ROE(自己資本利益率)の向上を目指す。

➤ 株主還元

配当と自己株式取得を合わせ、株主還元性向* **50%** 以上を実施する。

* 株主還元性向 = (配当総額 + 自己株式取得額) / みなし連結当期純利益**

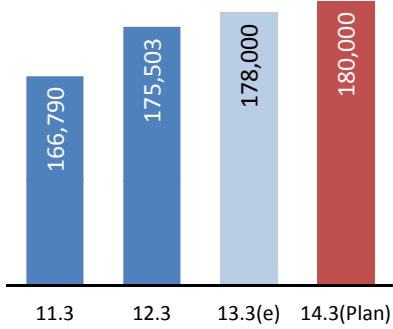
** みなし連結当期純利益 = (連結経常利益 - 受取利息・配当金 + 支払利息) × (1 - 法定実効税率)

セグメント別の定量目標

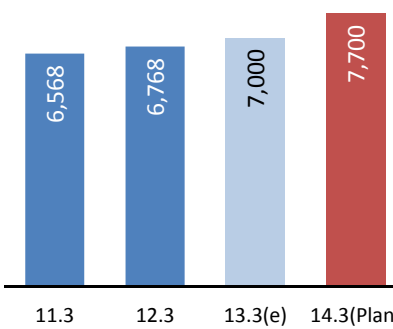
(単位:百万円) 7

宝酒造グループ

売上高

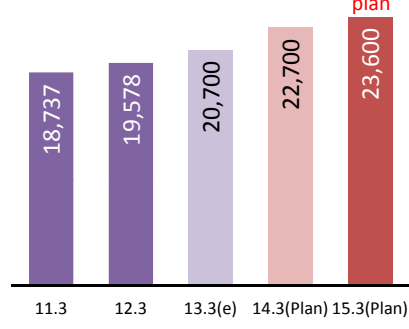


営業利益

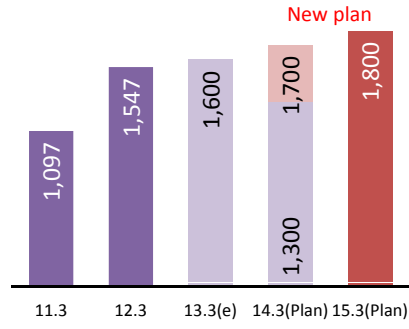


タカラバイオグループ

売上高

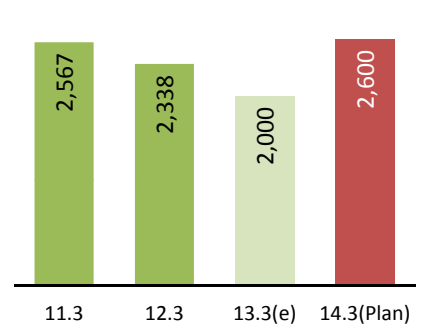


営業利益

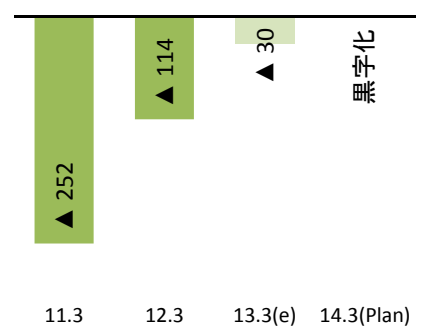


宝ヘルスケア

売上高



営業利益



宝酒造グループ

- 国内酒類事業
- 調味料・酒精事業 (B-to-B)
- 海外酒類事業、
日本食材卸事業

◆ 国内酒類事業

焼酎、清酒、ソフトアルコール飲料(RTD)、調味料の製造・販売

焼酎



清酒



ソフトアルコール飲料(RTD)



調味料



◆ 調味料・酒精事業

加工業務用調味料事業と酒精事業 (B-to-B)



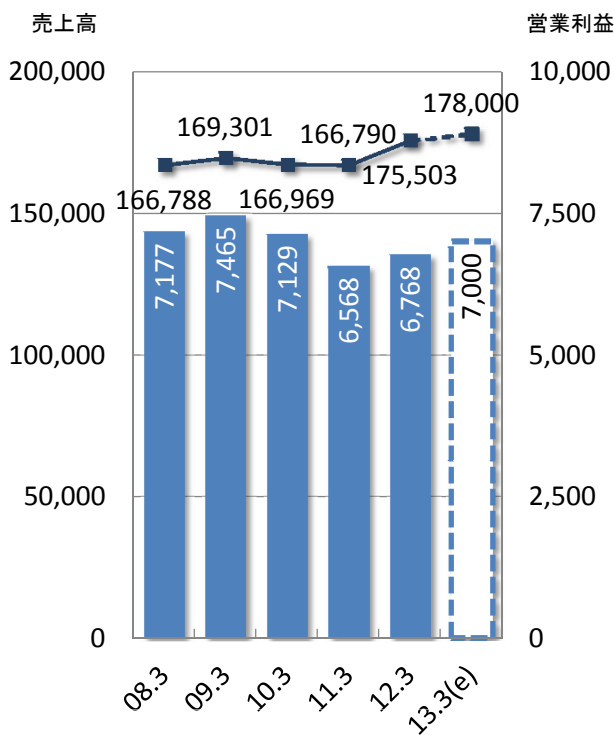
◆ 海外事業

海外酒類事業と日本食材卸事業

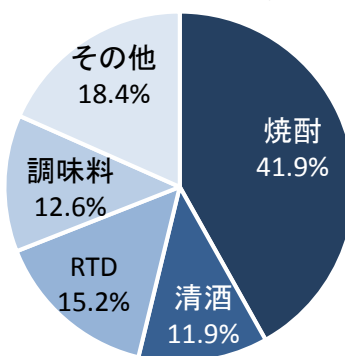


◆ 業績

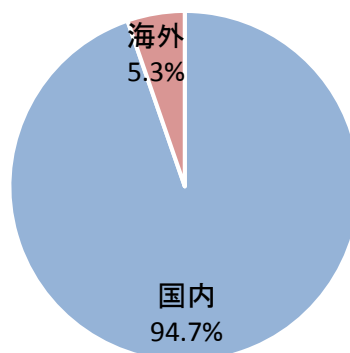
(単位:百万円)



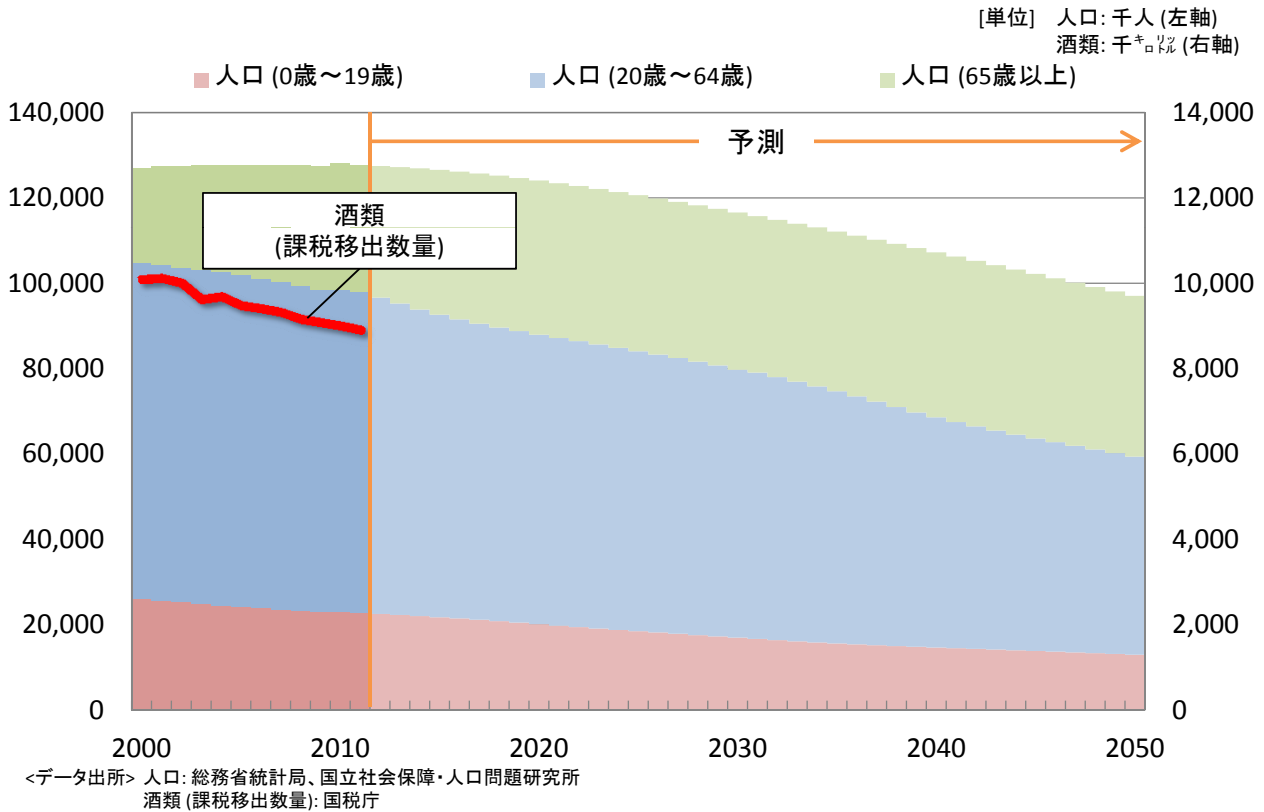
➤ カテゴリー別売上構成比 (2012年3月期)



➤ 地域別売上構成比 (2012年3月期)

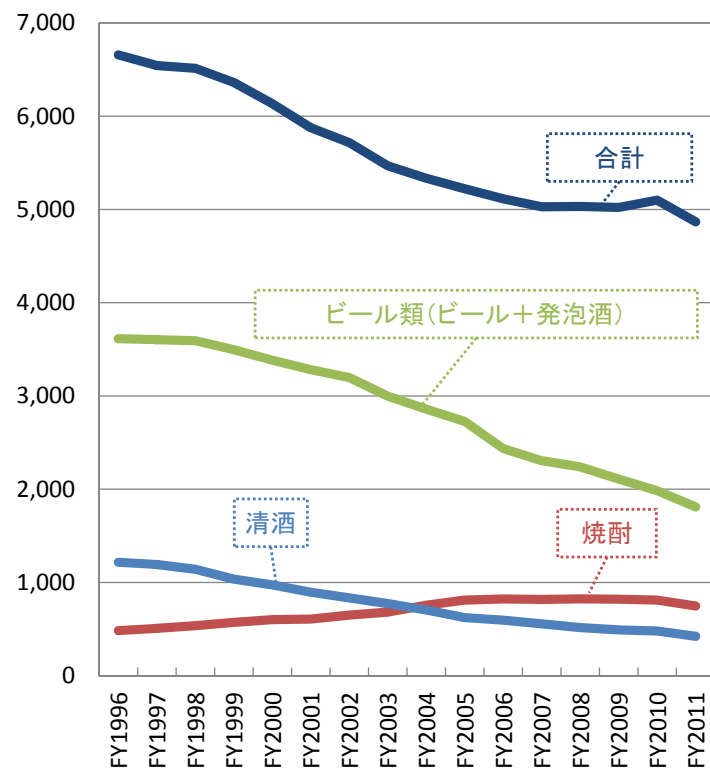


◆ 日本の人口と酒類市場規模の推移



◆ 酒類消費金額の推移

(単位: 十億円)



➤ 国内市場シェア (2011年1-12月)

カテゴリー	国内市場シェア	順位
焼酎	13.7%	1 st
甲類焼酎	28.3%	1 st
清酒	7.7%	3 rd
贈答用 (一升瓶)		1 st
ソフトアルコール飲料 (RTD)	13.1%	3 rd
みりん (1種)	55.0%	1 st

<データ出所> 醸造産業新聞社、日刊経済通信社、全国味淋協会

◆ 事業戦略

<p>新商品の開発</p> <p>差別化品質を持った オリジナリティある 新商品の開発</p>	<p>ブランド育成</p> <p>こだわりゾーンと スタンダードゾーンの双方で 多数の強いブランドを育成</p>	<p>収益力の強化</p> <p>利益マネジメントの強化と 業務効率化の推進</p>
--	---	---

安定的なキャッシュフローを生み出し、グループの成長を支える

● 新商品の開発

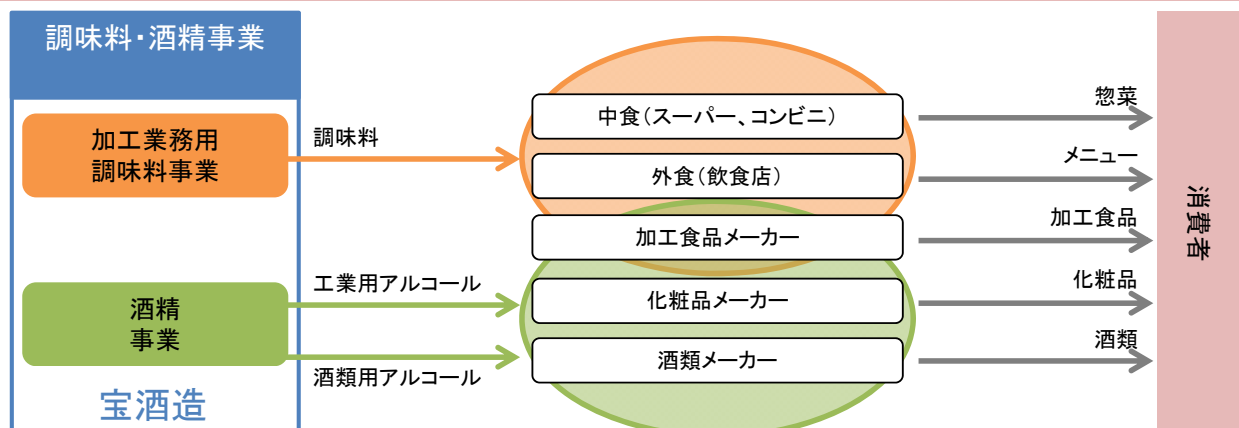


◆ 事業戦略

<p>加工業務用調味料事業の拡大</p> <p>技術力に基づく 商品開発と提案営業で 顧客の課題解決に貢献</p>	<p>酒精事業の拡大</p> <p>新たなスキームによる事業成長と 競争優位性の確立による 収益力強化</p>
--	--

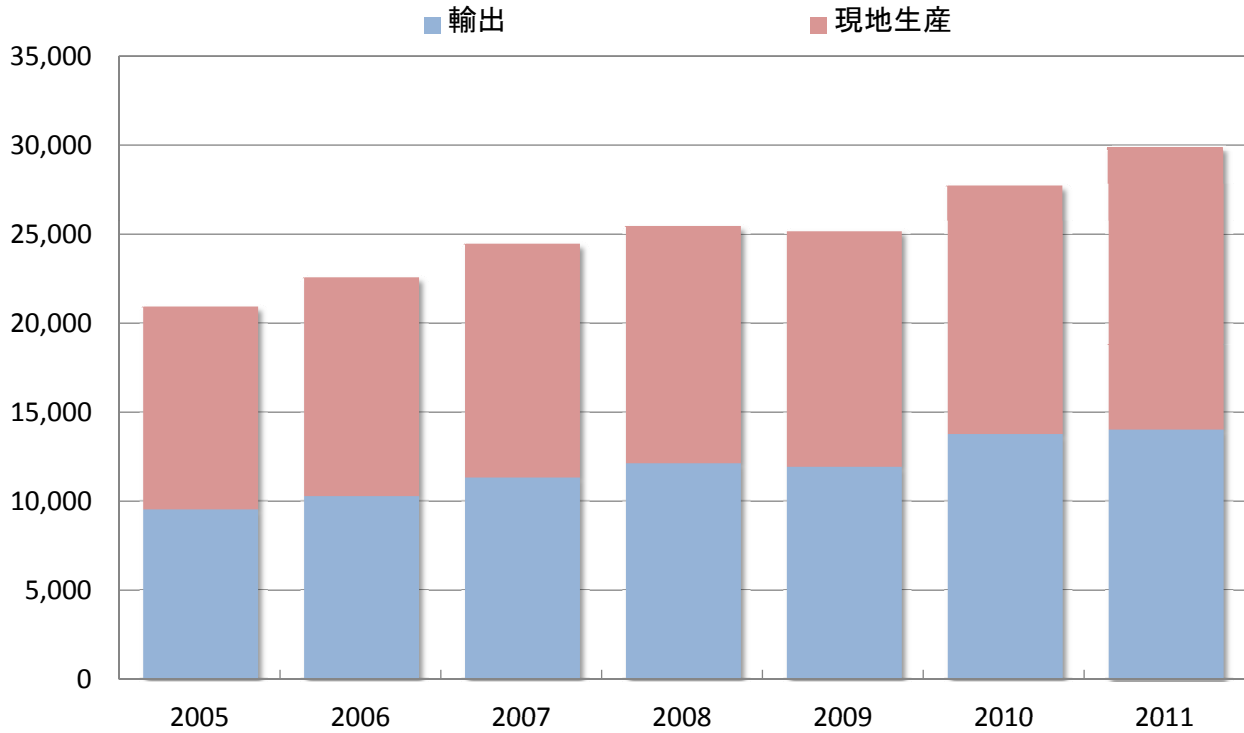
両事業の相乗効果を活用し、B to Bビジネスを拡大する

● 調味料・酒精事業のビジネスモデル (B-to-B)



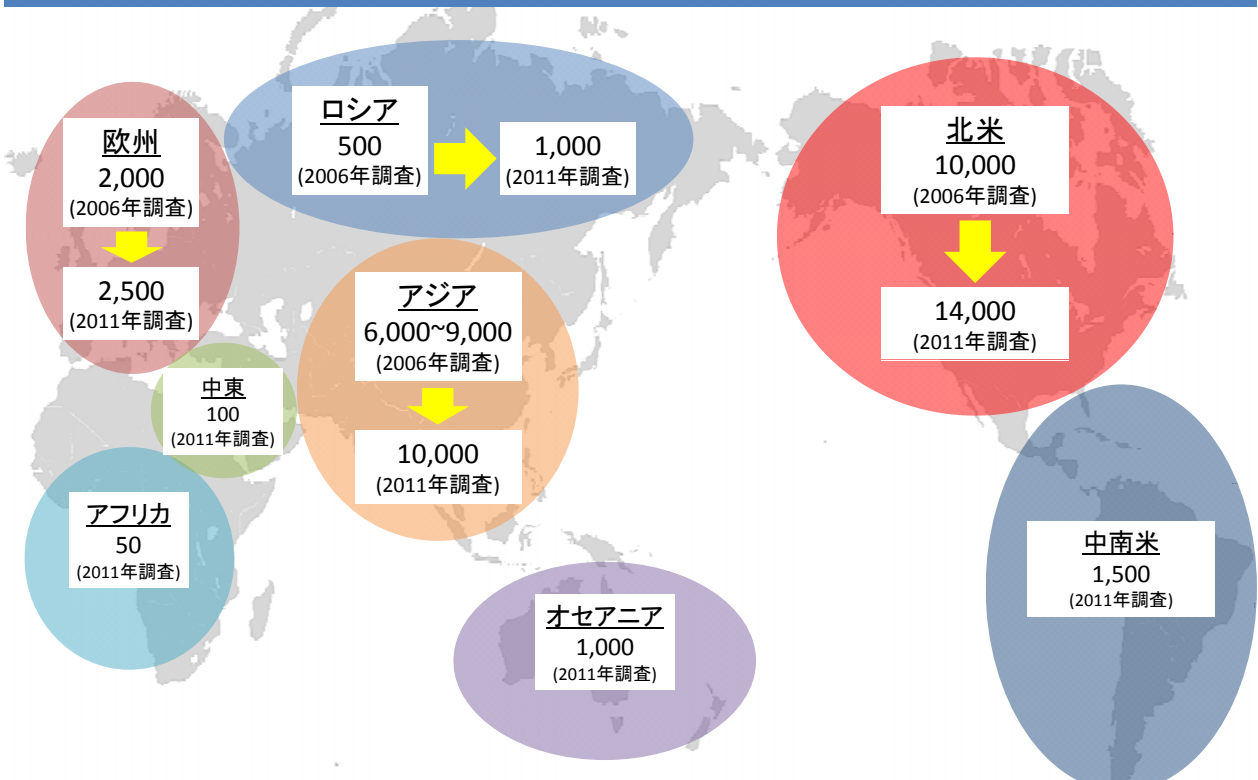
◆ 世界の清酒市場の動向

(単位:千キロリットル)



<データ出所> 輸出: 財務省貿易統計
 現地生産: 醸造産業新聞社(清酒大手9社の現地生産合計)

◆ 日本食レストラン軒数



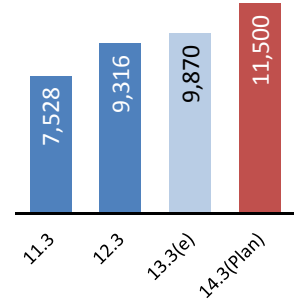
<データ出所> 農林水産省

◆ 事業戦略

海外酒類事業の拡大	日本食材卸販売網の構築
海外清酒市場で圧倒的シェアNo.1への基盤構築	販売網を構築・拡大し欧州市場における事業拡大を加速

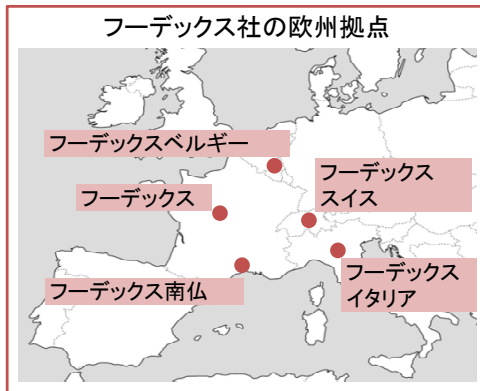
➤ 海外売上高

(単位:百万円)



日本食文化を世界に広め、海外事業の拡大を図る

● 宝酒造グループの海外拠点



タカラバイオグループ

- 遺伝子工学研究事業
- 医食品バイオ事業
- 遺伝子医療事業

◆ タカラバイオグループの歩み

寶酒造株式会社(現・宝ホールディングス株式会社)のバイオ事業としてスタート

2002年4月
新設分割の方式により
タカラバイオ株式会社設立

2004年12月
タカラバイオ株式会社が
東証マザーズに上場

◆ 基本戦略

セグメント別業績: 2012年3月期 (単位: 百万円)

研究用試薬



遺伝子工学研究事業
(安定収益事業)

売上高: 16,300
営業利益: 4,447
研究開発費: 843



理化学機器 受託

遺伝子医療事業
(将来の成長事業)

売上高: 842
営業損失: ▲1,186
研究開発費: 1,374

レトロネクテン



細胞医療関連製品

医食品バイオ事業
(第二の収益事業)

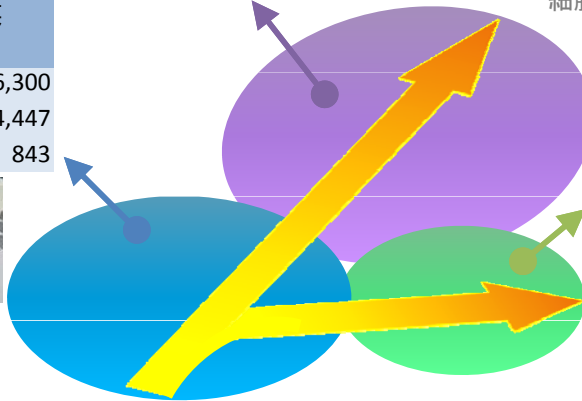
売上高: 2,435
営業損失: ▲253
研究開発費: 244



キノコ

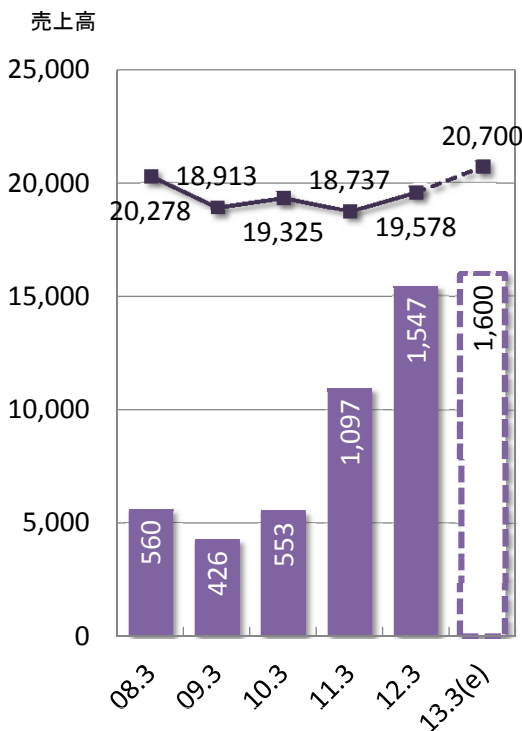


健康食品

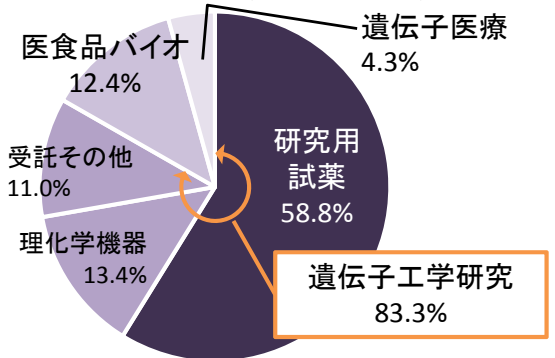


◆ 業績

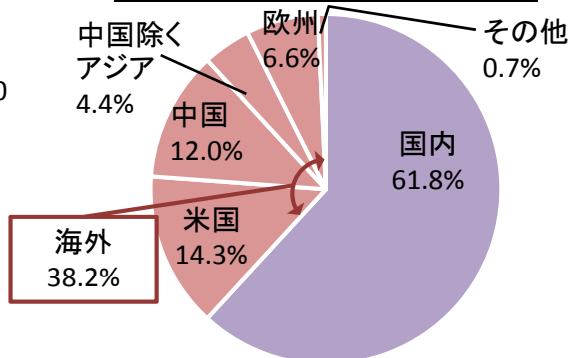
(単位: 百万円)



➤ 事業別売上構成比 (2012年3月期)



➤ 地域別売上構成比 (2012年3月期)

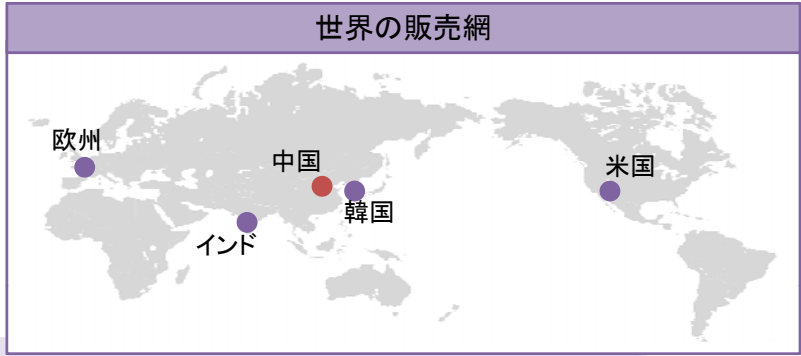


研究用試薬の豊富なラインナップ

2005年に米国BD社からクオンテック事業を買収

価格競争力の高い研究用試薬

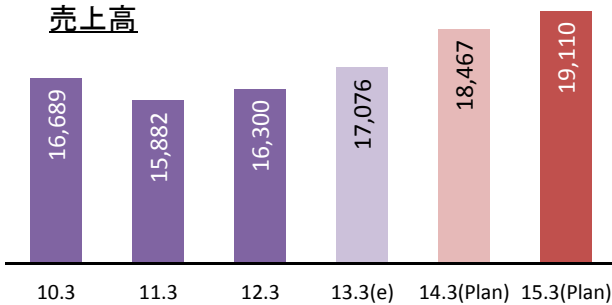
大半の研究用試薬を中国の大連で製造



新興国を含めた国内外の市場開拓を進め、
売上拡大と収益力強化を図る

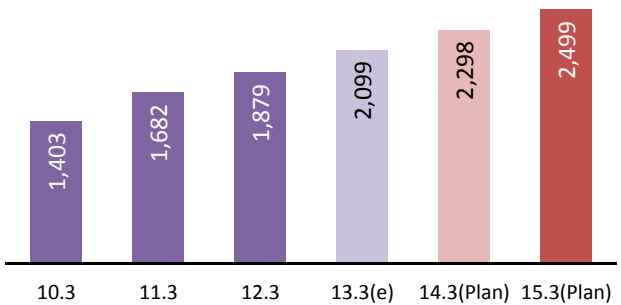
➤ 遺伝子工学研究事業の売上高

(単位:百万円)

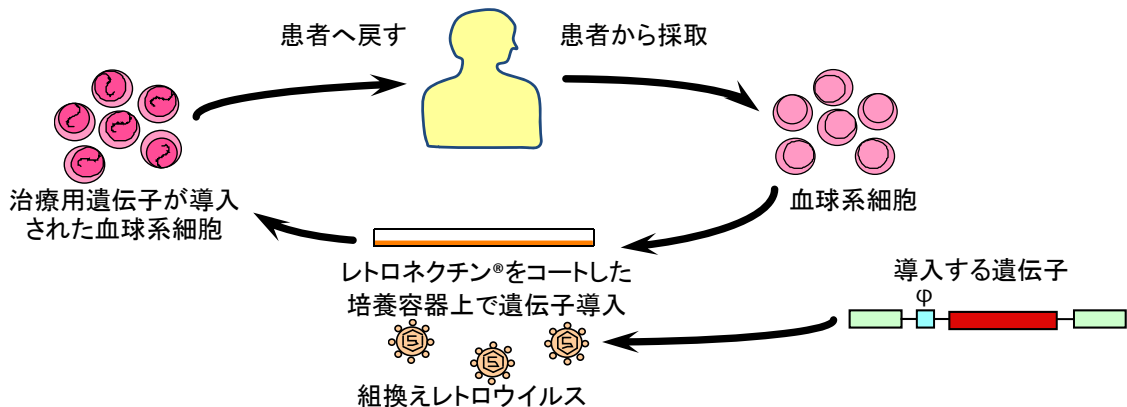


➤ 中国での売上高

(単位:百万円)



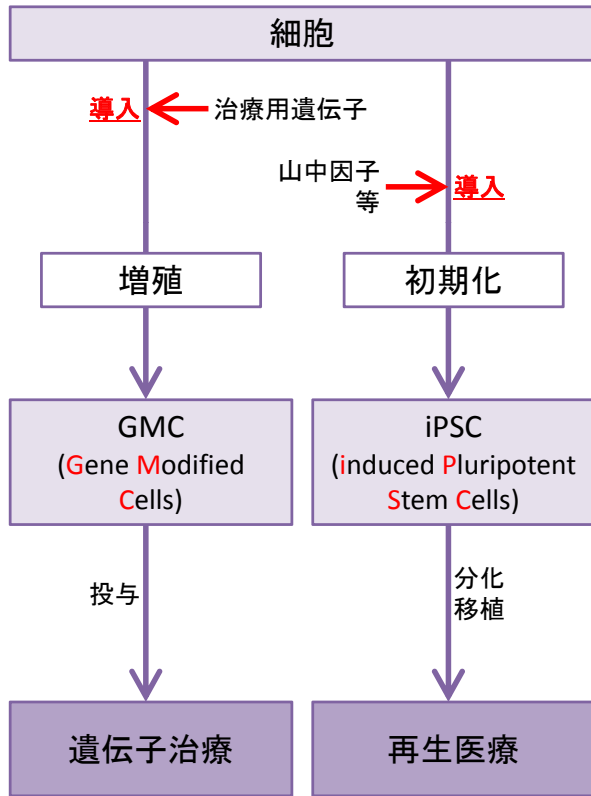
◆ レトロネクチン法を用いる遺伝子治療プロトコル



◆ 遺伝子医療の臨床試験スケジュール

治療法	対象疾患	現状と今後のスケジュール
HSV-TK遺伝子治療	ドナーリンパ球輸注療法:再発白血病 パプロadd-back:造血器悪性腫瘍	国内第I相臨床試験実施中 2018年3月期 商業化予定
HF10	頭頸部がん 等	米国第I相臨床試験実施中 2019年3月期 商業化予定
MazF遺伝子治療	HIV	米国第I相臨床試験実施中 2023年3月期 商業化予定
TCR遺伝子治療	食道がん 等	2014年3月期 国内第I相臨床試験開始予定

◆ iPS細胞研究におけるタカラバイオの技術

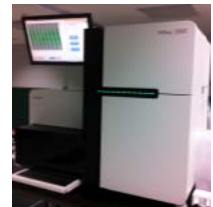


● 遺伝子治療に関する技術

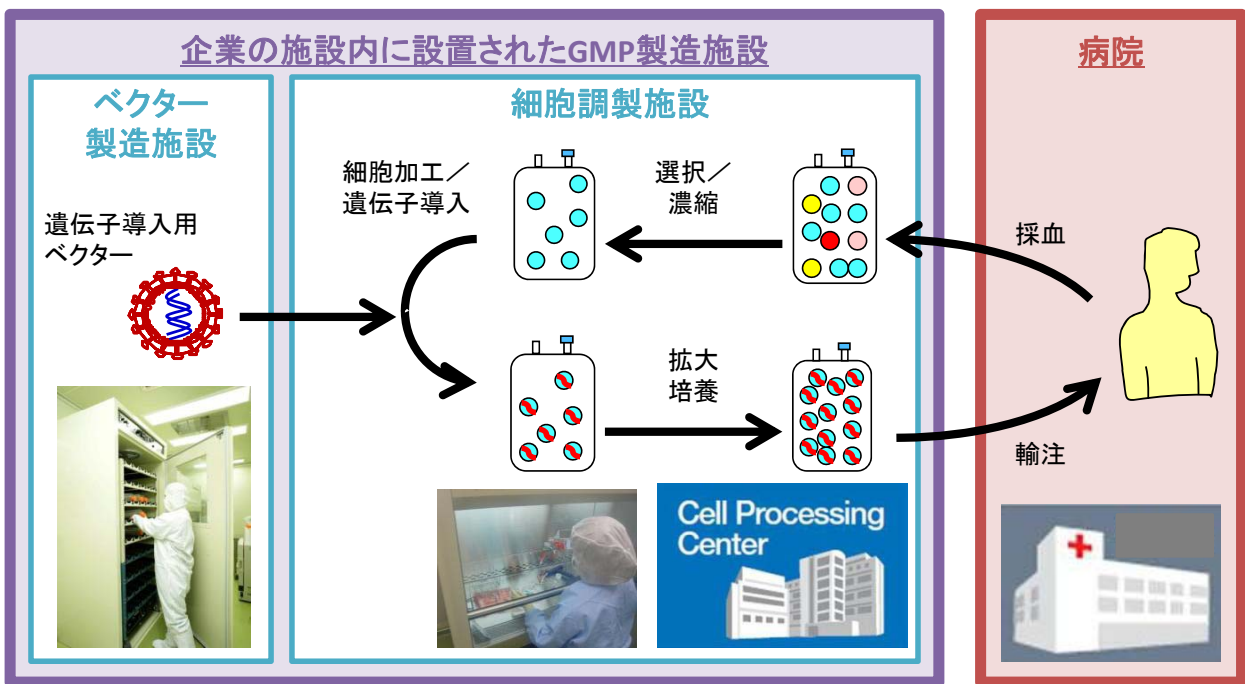
- 遺伝子導入
 - ✓ ベクター開発
 - ✓ レトロネクチン法
 - ✓ プラスミドベクターやウイルスベクターのGMP製造
- 細胞調製
 - ✓ 遺伝子導入細胞のGMP製造

● ゲノム解析に関する技術

- 細胞の特性解析
 - ✓ 高速シーケンス技術の利用
 - ✓ エピジェネティクス解析
 - ✓ ゲノム解析
 - ✓ 発現解析



遺伝子治療の将来像



● 細胞・遺伝子治療用の研究・製造施設の新設について

タカラバイオ株式会社は、滋賀県草津市に土地を確保し、細胞・遺伝子治療用の研究・製造施設を新設します。新施設は、遺伝子治療・再生医療用の遺伝子導入用ベクター及び遺伝子導入細胞のGMP細胞(医薬品の製造管理、品質管理基準に準拠した製造)や、基盤技術開発を行うための施設です。
(2012年8月9日ニュースリリース)

宝ヘルスケア

➤ 健康食品事業

宝ヘルスケア

◆ 事業戦略

タカラバイオの独自の先端技術

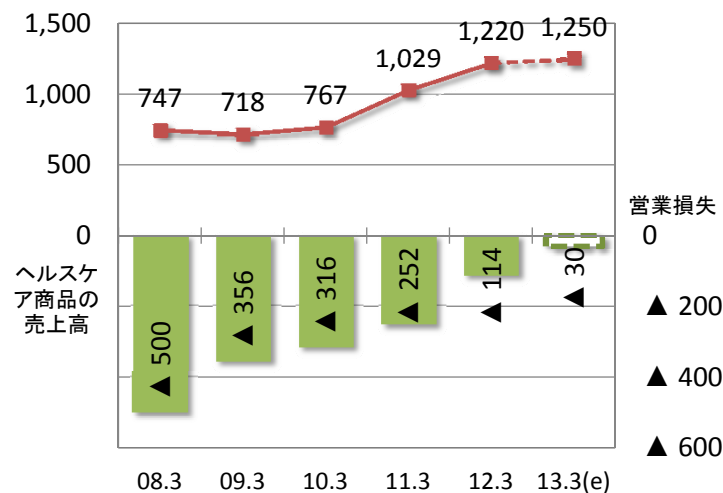
宝酒造のマーケティングノウハウ

ダイレクトマーケティングを通じて健康食品を販売

◆ 業績

(単位:百万円)

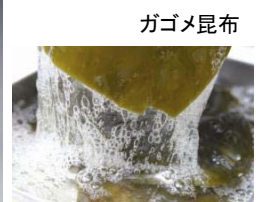
➤ ヘルスケア商品の売上高と営業損失



◆ 主な商品



フコイダンサプリ50



ガゴメ昆布



明日葉カルコン



明日葉

当社の方針

当社の方針

独自の技術で差別化された
お客様が望まれる安全で高品質の
商品・サービスを開発・育成

宝酒造グループ

- 国内で安定的な収益を確保
- 海外での事業拡大



タカラバイオグループ

- 遺伝子工学研究事業での利益成長
- 遺伝子治療の商業化を実現



宝ヘルスケア

- 健康食品事業の成長を加速

将来見通しに関する注意事項

この資料に掲載中の当社および当社グループの現在の計画、見通し、戦略、確信等のうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、様々な要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となりえることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

<お問合せ>
宝ホールディングス株式会社
財務・IR部
E-Mail: ir@takara.co.jp